

三菱 F1M2 零式観測機

2023.03.03 Tanzai

機体フォルダ名： F1M2 Zerokan 3.0

使用環境： X-Plane 11.55 (64bit) にて動作確認済

機種概要： 零式観測機は 1941 年に旧日本海軍に採用された着弾観測機で簡単な曲技飛行も可能でした。そのため哨戒飛行のみならず、低速機を相手に戦闘行動も行えました。

モデル仕様：

- 1) 機体が地上にある時は台車に乗っています。このままでも離陸はできますが実際とは異なります。機体を動かし水上に移動すると台車は外れますので、水上発信が出来ます。機体が地上にある時、操縦席に現れるボードをクリックすると主翼の折り畳みや展開ができます。



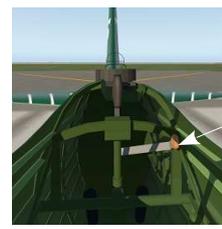
- 2) 数字キー押下でカメラを素早く移動できます。具体的には Num Lock 有効時に 1 キー押下で前席に、2 キー押下で後席に、3 キー押下で機銃席に移動出来ます。



Num Lock + 0



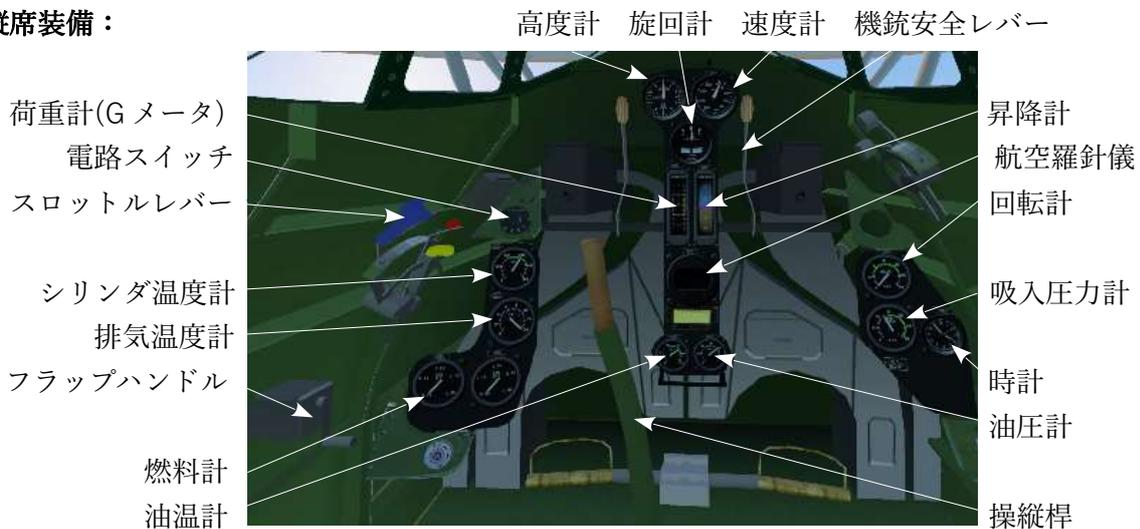
Num Lock + 1



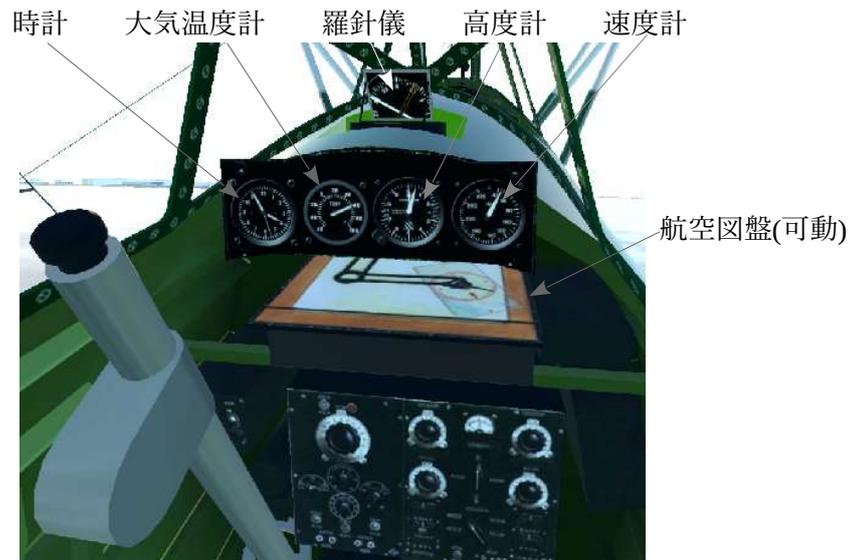
Num Lock + 2

- 3) 前方機銃の安全レバーを手前に倒すと、**Fire guns** を設定したボタン（事前設定要）押下で機銃発射が出来ます。機銃の発射ができます。
- 4) 後席の地図版をクリックすると手前に引き出せます。
- 5) 後席の機銃準備レバーを下げると機銃の旋回が可能になります。（機銃発射は出来ません）
- 6) 緑色と灰色の二種類の塗装パターンを用意しました。

操縦席装備：



後席装備：



離水方法：フラップを一段下げスロットルを最大にして水上滑走し、速度 65 kt 付近で離水します。
(速度が上がらない場合は G キーを押下します)

着水方法：フラップを最大に下げスロットルを絞り速度を下げます。機首を水平に保ち速度 60 kt 付近で着水します。

参考情報：

- 1) 世界の傑作機 No.136、海軍零式観測機、(株)文琳堂
- 2) 丸メカニック No.20 零式観測機、(株)潮書房
- 3) イラストで見る日本陸・海軍機大図鑑①、(有)モデルアート社
- 4) イラストで見る日本陸・海軍機大図鑑①、(有)モデルアート社